

リサーチグループ登録届出書

平成 24 年 1 月 27 日

1. グループの概要

グループの名称	人文地理学リサーチグループ
分野名	人文地理学
設置場所	総研棟A305
設置予定期間	2012年4月1日から2017年3月31日

2. 研究代表者

所属・職名	生命環境系・教授
-------	----------

(ふりがな)	やました きよみ
--------	----------

氏名	山下 清海
----	-------



3. 連絡先

所属・職名	生命環境系・教授
-------	----------

氏名	山下 清海
----	-------

電話	029-853-6271
----	--------------

FAX	029-853-6271
-----	--------------

E-mail	yamakiyo@geoenv.tsukuba.ac.jp
--------	--

4. 担当部局(当該グループの運営等を管理する部局名)

生命環境科学研究科 地球科学専攻

グループ名	人文地理学リサーチグループ				
グループ名(英語)	Human Geography Research Group				
分野	参考:1. 人社系、2. 理工系、3. 生物系、4. 複合系のうち、該当の番号を記載してください。				4
科研費細目番号	主なものから順番に3つまで記載してください。		1901(地理学)	3201(人文地理学)	
キーワード(5つまで)	人文地理学	農業地理学	文化地理学	都市社会地理学	フィールドワーク
キーワード(英語)	human geography	agircultural geography	cultural geography	urban social geography	field work
グループのHP:URL	http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/~human/				
代表者名(英語)	山下清海 (YAMASHITA Kiyomi)				
研究組織					
氏名	所属機関	職名(任期)	専門分野	学位	役割分担
山下清海	生命環境系	教授	人文地理学	理学博士	グループ代表者
田林 明	生命環境系	教授	人文地理学	理学博士	
松井圭介	生命環境系	准教授	人文地理学	博士(理学)	
兼子 純	生命環境系	助教	地誌学・人文地理学	博士(理学)	
グループ概要(100字程度)					
人文地理学リサーチグループは、地球環境科学専攻のなかで人文地理学に関する深い専門性をもった教員から構成される。都市・農村における文化・社会・政治・経済など人間の諸活動によって形成される空間的特性に着目し、人間と場所との関わりを様々なスケールで明らかにすることを研究目標とする。					
グループ概要(英語)					
Human Geography Research Group consists of individual scientists whose expertise is human geography in general. We study dynamism of relationship between humankind and place at various scales, focusing on the spatial characteristics of cultural, social, political, and economic aspects which are created by human activities in urban and rural areas.					
設置の目的及び必要性					
筑波大学の人文地理学は、前身の東京教育大学以来、研究のレベルにおいても、輩出した大学教員の数においても、人文地理学分野で学界をリードしてきた伝統を有している。本リサーチグループは、これまでに蓄積されてきた研究の成果、方法、テクニックなどをさらに発展させるとともに、現代社会が直面している都市や農村の地域振興・活性化に貢献するとともに、人文地理学のプロフェッショナルな人材を育成することを主要な目的とする。					
研究計画					
本リサーチグループの特色は、徹底したインテンシブなフィールドワークにある。これまでも茨城県内および隣接県の特定の都市・農村地域において、農林水産業、商業、工業、居住、地域開発などの諸問題について、総合的な地域調査を実施してきた。本リサーチグループの結成後においても、このような地域調査を継続するとともに、研究成果の社会への貢献の重要性を重視し、地域活性化や地域振興に向けて積極的な発言、提案を行なっていく予定である。また、北アメリカ、ヨーロッパ、アジアなどにおける海外調査を積極的に推進していく。					
研究・教育に期待される効果(箇条書き)					
<ul style="list-style-type: none"> ・農山村地域における産業振興への基礎データの提供と提言 ・都市地域における商店街の衰退、地域再編成、住宅問題などの実態解明と政策提言 ・海外フィールドワークの推進 ・海外の研究者と協力して国際プロジェクトをリードする共同研究の推進 ・高度なフィールドワーク能力を有する人文地理学の優れた人材の育成 					